2015年4月17日

要 望 ・ 質 問 書

玄海原子力発電所の再稼働を認めないで下さい

佐賀県知事　山口祥義　様

原発を考える鳥栖の会／玄海原発対策住民会議
さよなら原発！佐賀連絡会／九州玄海訴訟原告団・弁護団
プルサーマルと佐賀県の100年を考える会
玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会

貴職におかれましては、「人を大切に世界に誇れる佐賀づくり」のために日々ご尽力いただいていることに敬意を表します。この度は１月２６日付けで私たちが貴職に要請をいたしました、面談のために時間を割いて下さり心より御礼申し上げます。

原発で重大な事故が起きれば故郷も命も失われてしまいます。私たちは「３・１１」の、甚大な、今なお収束することのない東京電力福島第一原子力発電所の事故を、東日本の方々に大きな痛みを背負わせる形で経験させられました。今日も福島で暮らす２５万人の子どもたちの事を思うと本当に心が痛みます。

九州電力玄海原子力発電所で重大事故が起きれば私たちのふるさと佐賀そのものが失われてしまいます。だから私たちは、私たちと、私たちの次の世代の命と生活に関わる玄海原発を絶対に再稼働させてほしくありません。

課題は、安全性の問題、避難計画の問題、使用済み燃料、分けても使用済み MOX 燃料の問題など、多岐にわたっていますので、今回の面談をまず「始めの一歩」と位置づけ、以後も知事がこのような機会をもって下さる事を要望いたします。

「県民に寄り添う」「一人一人との対話を大切にする」との知事の姿勢に共感しております。原発に危惧と不安を覚えている私たち県民の意見にも寄り添っていただきますようお願い申し上げます。

そこで、以下の要望と質問をいたします。

【要望事項】

１．県民の命を何よりも優先し、玄海原子力発電所の再稼働を認めないで下さい。

２．今後とも私たち県民と直接意見交換をする場を設け続けて下さい。

【質問事項】

１．国・原子力規制委員会委員長自らが新規制基準を満たしても「安全を保証しない」と言っていることに私達は非常に不安を感じていますが、知事が玄海原発再稼働に同意した後に事故が起きた場合に、知事は県民の命、財産を守れると思いますか。知事としての責任をどうお考えですか？

２．現行の原子力災害時避難計画は県民に日常生活にはない放射能被ばくを強いるものですが、避難計画によって県民の命は守られるとお考えですか。

３．「トイレのないマンション」と言われているように、処理方法が何も決まっていない使用済み核燃料をこれ以上増やして次世代の人たちにツケを押し付けることは、私達は許されないと思いますが、知事はどうお考えですか。